

高岡市立博労小学校 学校だより



泰山木

ホームページ <https://bakuro-e.takaoka-school.jp>



啐啄同時

校長 森田 芳栄

禅の言葉に「^{そつたくどうじ}啐啄同時」というのがあります。5月は野鳥にとって
は子育ての時期です。卵の中のひな鳥が殻を破ってまさに生まれ出
ようとする時、卵の殻を内側からひながコツコツとつつくことを「啐」といい、ち
ょうどその時、親鳥が外から殻をつつくの「啄」といいます。ひな鳥が内側から
つつく「啐」と、親鳥が外側からつつく「啄」とによって、殻が破れ、中からひな
鳥が出てくるのです。

親鳥の「啄」が一瞬でもあやまると、中のひな鳥の命が危なく、早くてもいけな
い、遅くてもいけない、とても大事なそれだけに危険な一瞬なのです。ですから、
啐啄は同時でなくてはなりません。

また、卵の殻を内側から子は無心につつき、母も外側から無心でつつきます。親
も子も互いに意識はしていません。「啐啄同時」とは自然にそうなっているものな
のだそうです。言葉のいらない親子の絆に大いなる神秘と確かな希望を感じます。
私たちは、とかく自分の子と友達を比べて焦ってしまったり、不安になって自信が
なくなったりしてしまいがちです。親ならだれでもそんなことはあるのではない
でしょうか。しかし、子供が一生懸命に話をしているときに耳を傾け、感動を共有
したり、共に悩んだりする・・・そんな小さなことを積み重ねているうちにやがて
「啐啄同時」のときはきます。その子なりの成長を見守りながら、家庭と学校が力
を合わせ、これからも子供たちを応援していきたい
と思います。

3月17日、48名の卒業生が博労小学校を巣立って
いきます。自慢の子供たちです。児童会活動や様々な
教育活動の中で、博労っ子一人一人が力を出し切ろ
うとがんばることができたのも、この48名が先頭に
たち、みんなを笑顔にしてくれたからです。卒業式で
は、笑顔で感謝の気持ちを伝えたいと思っています。



最後になりましたが、今年一年間、保護者の皆様、
地域の皆様には、本校の教育活動に多大なるご支援と
ご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。





博勞っ子日記「たいさんぼく」



【2月20日】 4・5・6年
博勞っ子交通少年団入退団式



6年生が退団し、4年生が新しく加入しました。6年生から4年生にスカーフが引き継がれ、新組織が発足しました。5年生をリーダーに、交通事故のない、安全で安心なまちづくりに努めます。

【2月20日】 全校
元気キッズ2024表彰式・色団解散式



年間を通して取り組んだ色団活動。今年は白団が優勝しました。おめでとう！どれだけがんばったかで比べるとすれば、全部の団が金メダル！解散式での6年生から下級生に向けたエールがとても素敵でした。

【2月28日】卒業を祝う会 全校



5年生が中心となって「卒業を祝う会」を開きました。在校生からの「ありがとう」と卒業生からの「ありがとう」が合わさって、体育館中が温かい雰囲気になりました。

【3月12日】同窓会入会式 6年



今年度の124回卒業生48名を加えて23,223名の同窓会となりました。博勞小学校、そしてふるさと博勞を大切に思う心を持ち続け、「前途洋々」の未来を築いていってください。

お知らせ

本校が保管する、開校当初から令和までの卒業記念作品の展示が、市美術館で企画されています。絵画、習字、作文など約37,000点の中から約300点が展示されます。講演会やギャラリートーク等も予定されています。友人、ご家族お問い合わせの上、ぜひお出かけください。

あの頃みんな子どもだった —タイムトラベル！博勞小120年の図画教育—

とき：令和7年4月5日(土)～5月11日(日)

場所：高岡市美術館 企画展示室1・2・3

→詳しくは、市美術館
HPをご覧ください

